一般社団法人 日本小児整形外科学会雑誌投稿規定

(平成 3年 6月28日制定) (平成23年 5月10日改定) (平成24年12月12日改定) (平成25年11月9日改訂) (平成27年12月6日改訂) (令和3年12月2日改訂)

(投稿資格)

1. 投稿論文の主著者, 共著者は日本小児整形 外科学会の会員であること(編集委員会が認める 場合を除く).

(著作権)

2. 論文は和文とし、原則的に未発表のものと する. 掲載論文の著作権は、日本小児整形外科学 会に属する. 日本小児整形外科学会は投稿論文を デジタル媒体として使用する場合がある.

(論文構成)

3. 論文は和文で作成し, タイトルページ, 要 旨, 本文, 文献, 図の説明文, 図, 表, からなる.

1)タイトルページについて

以下のものを記す.

論文題名:日本語と英語で併記する(英語題 名は日本語題名と同じ内容の英訳であること)

著者名:日本語と英語で併記する.

所属機関:日本語と英語で併記する.番号により各著者の所属を示す.

キーワード:5個以内. 日本語と英語で併記する.

連絡先:郵便番号,住所,電話番号,FAX番号,e-mail,氏名.

2)要旨について

要旨のみで目的、対象・方法、結果、結論がわかるように400字以内で簡潔に記載する.

略号を用いることができるのは要旨の中で3回以上使用される場合とし、最初に全スペルを記述、括弧内に略号を記載し2回目以降略号を使用する。全スペルの提示なく使用できる略号は特に常用されているもの(例、MRIなど)に限る.

3) 本文について

原稿用紙換算(400字)で、本文と文献の合計を 15枚以内とする。本文は序文、対象・方法、結果、 考察、結論からなる。記載にあたって、序文の中 で結果や結論を繰り返さない。考察は結果の単な る繰り返しではなく、得られた結果がいかに結論 に結びつくかを論理的に説明する。

口語体, 新かなづかい, 常用漢字を基準とする.

学術用語は日本整形外科学会用語集,日本医学会 医学用語辞典に準拠する.外国語はできるだけ邦 訳し,邦訳し得ない外国語や人名などは外国語綴 りとする(例外ペルテス病).カタカナ表記は常用 されるもの(外国の地名など)のみとする.

数字は算用数字を用い、度量衡単位は CGS 単位で、m、cm、1、dl、kg、mg などとする。薬剤名は一般名とし、必要に応じて商品名を併記する。機器名は商品名で記載し、会社名、所在地名を括弧内に追記する。略号を用いることができるのは、本文中に同一用語が3回以上使用される場合とし、最初に全スペルで記述、括弧内に略号を記載し2回目以降略号を使用する。全スペルの提示なく使用できる略号は特に常用されているもの(例、MRI など)に限る。

*本文ファイルについての注意事項

- 1)投稿ファイルは Word ファイルとする.
- 2) 通しの行番号を入れること.

Word の「レイアウト タブ」→「ページ設定:行番号 ボタン | から「連続番号 | を選択する.

3)作成者を匿名に変更すること.

Word の「ファイル タブ」→左カラム「情報 タブ」から右カラム「関連ユーザー:作成者」において、アイコン付きの自分の所有者名の下にある「作成者の追加」をクリックすると、ボックスが表示されるので、匿名(オルソなど)を入力した後、ボックス外をクリックする。「関連ユーザー:作成者」が一時的に2名表示されるので自分の所有者名の左のアイコンを2回ほど右クリックするとボックスが表示される。ボックス内「ユーザーの削除」をクリックすると作成者名から自分の所有者名が無くなる。

4) 図. 表について

図は $600 \, \mathrm{dpi}$, 手札版(約 $9 \times 13 \, \mathrm{cm}$) 程度のサイズの jpeg ファイルで作成し、 $10 \, \mathrm{MU}$ 内とする (組写真は用いられている図、各々を $1 \, \mathrm{枚}$ と数える). 表は Word あるいは Excel ファイルで作成する.

図,表には番号を付け,本文中に挿入箇所を指 定する.図,表ごとに標題を付け,図には説明文 を付ける.

5) 文献について

原則として本文中に引用されたもので、10個以内とする. 記載順序は著者名のアルファベット順とし、同一著者の場合は発表順とする. 本文中に肩番号を付けて照合する. 著者名は3名までとし、4名以上は「ほか、et al|とする.

誌名の略称は、和文誌は医中誌、英文誌は Index Medicus に従う。

記載例を下記に示す.

(例)

- 1) Aronson DD, Zak PJ, Lee CL et al: Posterior transfer of the adductors in children who have cerebral palsy. A long term study. J Bone Joint Surg 73-A: 59-65, 1991.
- Kruse RW, Bowen JR, Heinhoff S: Oblique tibial osteotomy in the correction of tibial deformity in children. J Pediatr Orthop 9: 476-482, 1989.
- Ogden JA: The uniqueness of growing bone. In Fractures in Children (Rockwood CA et al edt), Lippincott, Philadelphia, 1-86, 1972.
- Schuler P, Rossak K: Sonographische Verlaufskontrollen von Hüftreifungsstörungen.
 Z Orthop 122: 136-141, 1984.
- 5) Tachdjian MO: Pediatric Orthopedics, Saunders. Philadelphia, 769-856, 1972.
- 6) 滝川一晴, 芳賀信彦, 四津有人ほか: 脚長不等に対する経皮的膝骨端線閉鎖術の治療効果. 日小整会誌 15:50-54, 2006.
- 7) 吉川靖三: 先天性内反足. 臨床整形外科学(大野藤吾ほか編)7巻, 中外医学社, 東京, 837-859, 1988.

6) チェック表について

論文の体裁を整えるため、原稿をまとめる際に チェック表の項目を確認すること.

- 4. 論文は十分に推敲し提出する.
- 5. 他著作物からの引用・転載については、原 出版社および原著者の許諾が必要である. 予め許 諾を得ること.
 - 6. 倫理的配慮について

本誌に投稿されるヒトを対象とするすべての医学研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、患者の名前、イニシャル、生年月日、病院での患者番号、手術日、入院日など、患者の同定を可能とする情報を記載してはならない。臨床疫学的研究も当該施設の基準等に合致していること、動物実験を扱う論文では、実験が当該施設の基準等に沿ったものであること。

- 7. 論文の採否は編集委員会で審査し決定する. 内容の訂正あるいは書き直しを求めることがある.
- 8. 著者校正は1回のみ行う. 掲載料は刷り上がり4頁までは無料, これを超える分はその実費を著者負担とする. 図のカラー印刷を希望する場合は実費を著者が負担すること. 刷り上がりのPDF(高精細)は有料, 別刷は著者実費負担とする. 掲載料別刷料納入後. 発送する.
 - 9. 投稿方法

投稿は、日本小児整形外科学会オンライン投稿 システムの手順に従い入力を行う.

一般社団法人 日本小児整形外科学会〒 100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル 9F

㈱毎日学術フォーラム内日本小児整形外科学会係

電話: (03)6267-4550 FAX: (03)6267-4555

E-mail: maf-jpoa@mynavi.jp URL: http://www.jpoa.org/